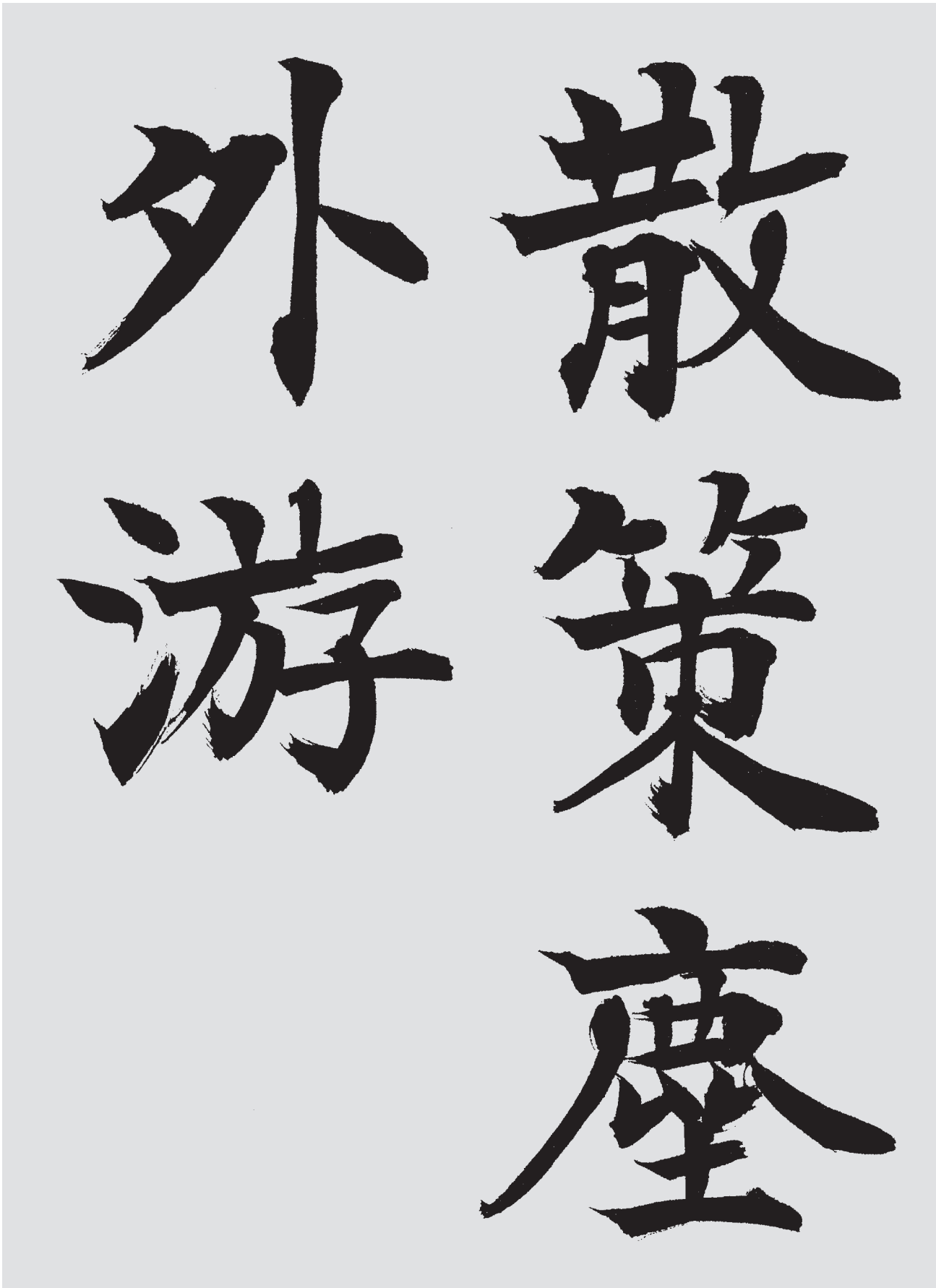


参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

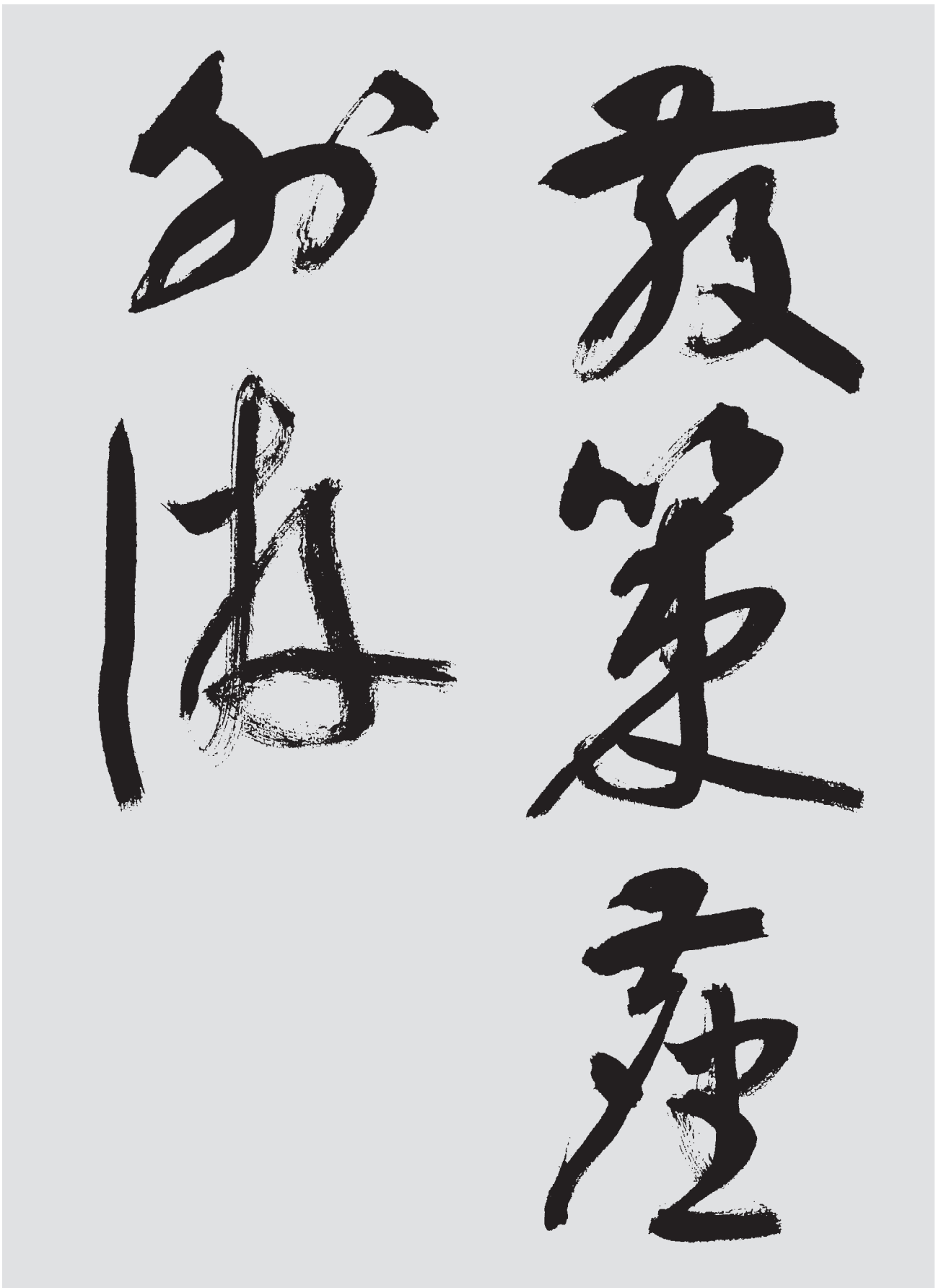


散策して塵外に遊ぶ

高 木 聖 雨 先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



散策して塵外に遊ぶ

高 木 聖 雨 先 生

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)
B部 (四段~準三段)

しぐれつる木の^き下露^{したつゆ}は音^{おと}づれて山路^{やまぢ}の末^{すゑ}に雲^{くも}ぞなり行く^{ゆく} (宮内卿)



前後赤壁賦 (元・趙孟頫)

大德辛丑正月八日明遠弟以此昏求書二

浮 乗 清 郷 先 生



道因法師碑 (唐・歐陽 通)

南嶽牧並國華朝秀重望崇班共籍聲芳俱申



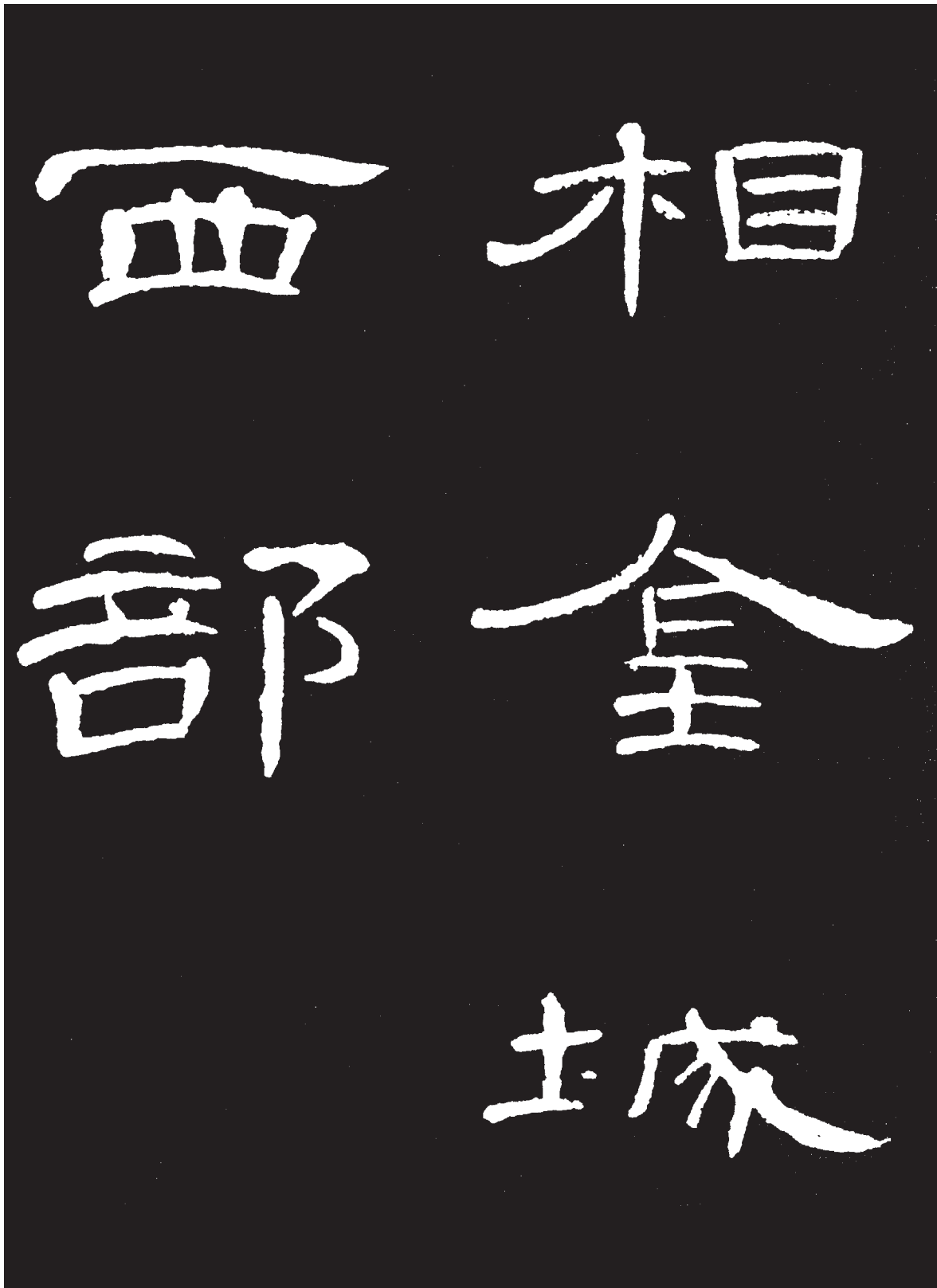
※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(11月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

相・
金・
城・
西・
部

相・
金・
城・
西・
部

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(11月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



我后夕惕雖

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書

我・
が・
后・
夕・
惕・
して、
休と
雖も

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(11月10日締切)

本 手 考 参 幅 条

空山新雨後天氣晚來秋
明月松間照清泉石上流

草書

中村草苑先生

空山新雨後 天氣晚來秋 明月松間照 清泉石上流
空山新雨の後 天氣晚來秋なり 明月松間に照り 清泉石上に流る

大越三宗先生

湖中五老峯 去天不盈尺 澗底白雲生 五老頭俱白

湖中の五老峯 天を去って尺にも盈たず 澗底白雲生じ 五老頭俱に白し

本 手 考 参 幅 条



鈴木翡翠先生

西風断雁聲 落葉廻風舞 人坐夕陽亭 空翠下如雨
 西風断じて雁の声 落葉廻りて風に舞う 人は坐す夕陽の亭 空翠下ること雨の如し

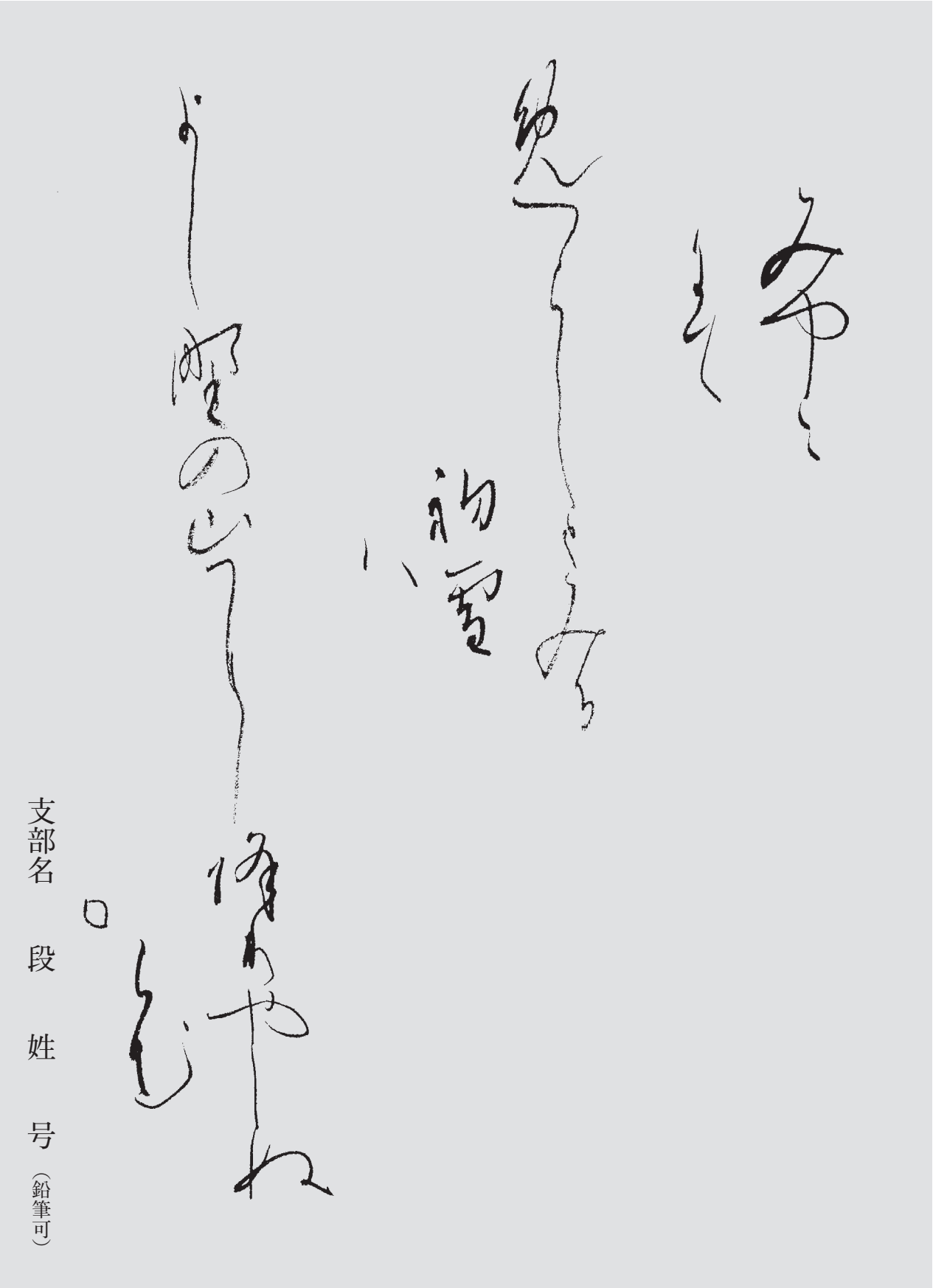
田辺玉翠先生



秋山の紅葉は過ぎぬ今よりは何によそへて君をしぬばむ (良寛)

半紙かな（初段以上）

都みやこにてめづらしとみる初雪はつゆきは吉野よしのの山やまにふりやしぬらむ（源景明）
爾やま免やま八やま耳やま降やま利やま



浮
乘
清
郷
先
生

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

(11月10日締切)

半紙かな (1級～8級)

野の
さらしを
越^こへ
心^{こころ}に
風^{かぜ}の
しむ
身^みかな
無^な可^こ那^な
(松尾芭蕉)

野の
さらしを
越^こへ
心^{こころ}に
風^{かぜ}の
しむ
身^みかな
無^な可^こ那^な

野の
さらしを
越^こへ
心^{こころ}に
風^{かぜ}の
しむ
身^みかな
無^な可^こ那^な

支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

若月久美子先生

(11月10日締切)

実用文（準三段以上）

芸術はその意識が徐々に古代
でも着々とその水準を高めてお
りました。元來人間には美に對
する自律性が本能的に備わって
おります。青心形雨著書の実相より

支那名 長 姫 号

〈書風任意〉芸術はそう意識…でも…その水準…美に…備わって

大井岳陵先生

(11月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

パソコンや携帯電話の普及により、手
書きの文字は、生活の隅に追いやられている。
手紙などは、その筆跡から書き手の存在
や親しみを感じさせにくくなる。

文部省 段級 姓号

鈴木 翡翠 恵 先生

(11月10日締切)

細 字

支 部
段
姓
号

撫犬乳嬰泣笑戸内愉睦
 撫犬乳嬰泣笑戸内愉睦
 撫犬乳嬰泣笑戸内愉睦
 撫犬乳嬰泣笑戸内愉睦

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

撫^ぶ犬^{けん}
 乳^{にゅう}嬰^{えい}
 犬をかわいがる。
 ちのみ児、赤ちゃん。

愉^ゆ睦^{ぼく}
 むつまじく、楽しむ。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

硬筆（初段以上）

花野[「]とは秋の草花が咲き乱れる[」]聖の
こゝだ。春の花の咲く庭園とは違って
どふかもの淋しく、はかなさがある。一時
が過ぎればまた厳しい冬が来ることを
予感させるからだろう。

支教 名 海 姓 号

本院定型用紙一枚に書く

……。春の花の咲く庭園とは違って……。一時が過ぎれば……

『美しい日本語』より

青柳江雲先生

(11月10日締切)

硬筆（4級以下）

硬筆（1級～3級）

本院定型用紙・たて半分に書く

支部名

級

姓

号

芸術は人生と同じく、深く入りこめば
こむほど広くなるものである。(ゲーテ)

田 辺 翠 鶴 先生

支部名

級

姓

号

芸術は人生と同じく、深く入りこめば
こむほど広くなるものである。(ゲーテ)

田 辺 翠 鶴 先生

(11月10日締切)

中2用

支部名

聞講

段級

人

名

前

評在

田邊玉翠先生

中3用

支部名

謝勤

段級

日

名

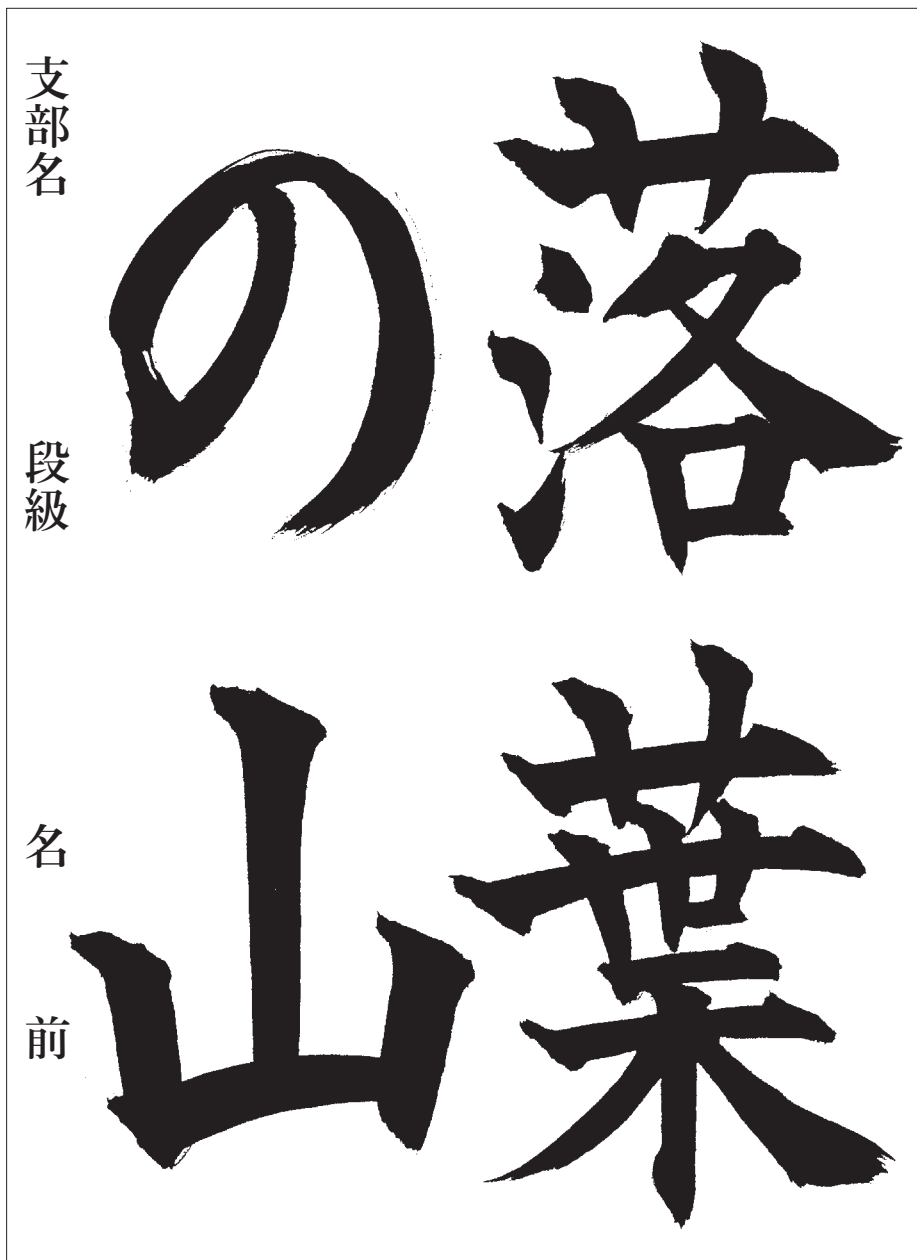
前

勞感

田邊玉翠先生

(11月10日締切)

小6用



朝平霞山先生

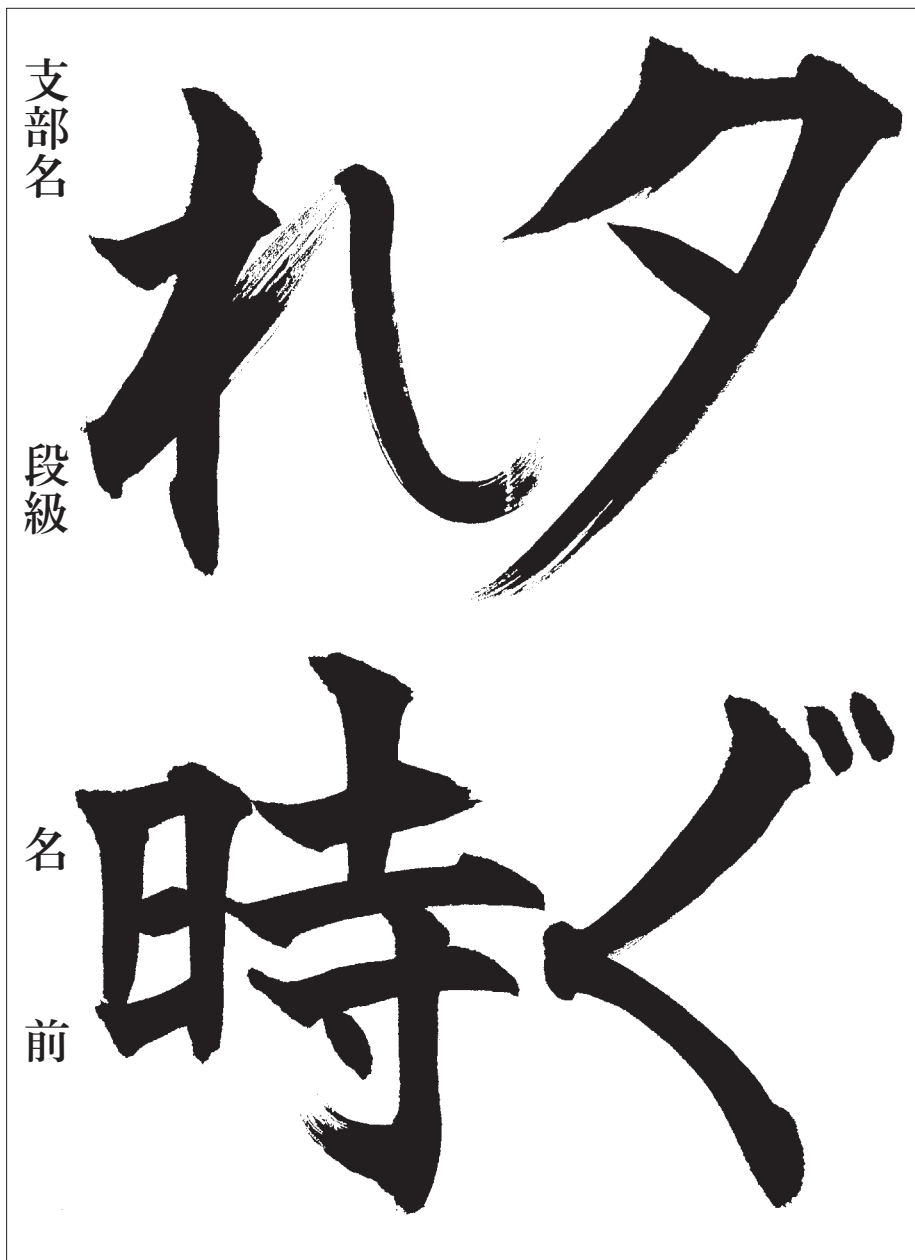
中1用



田邊玉翠先生

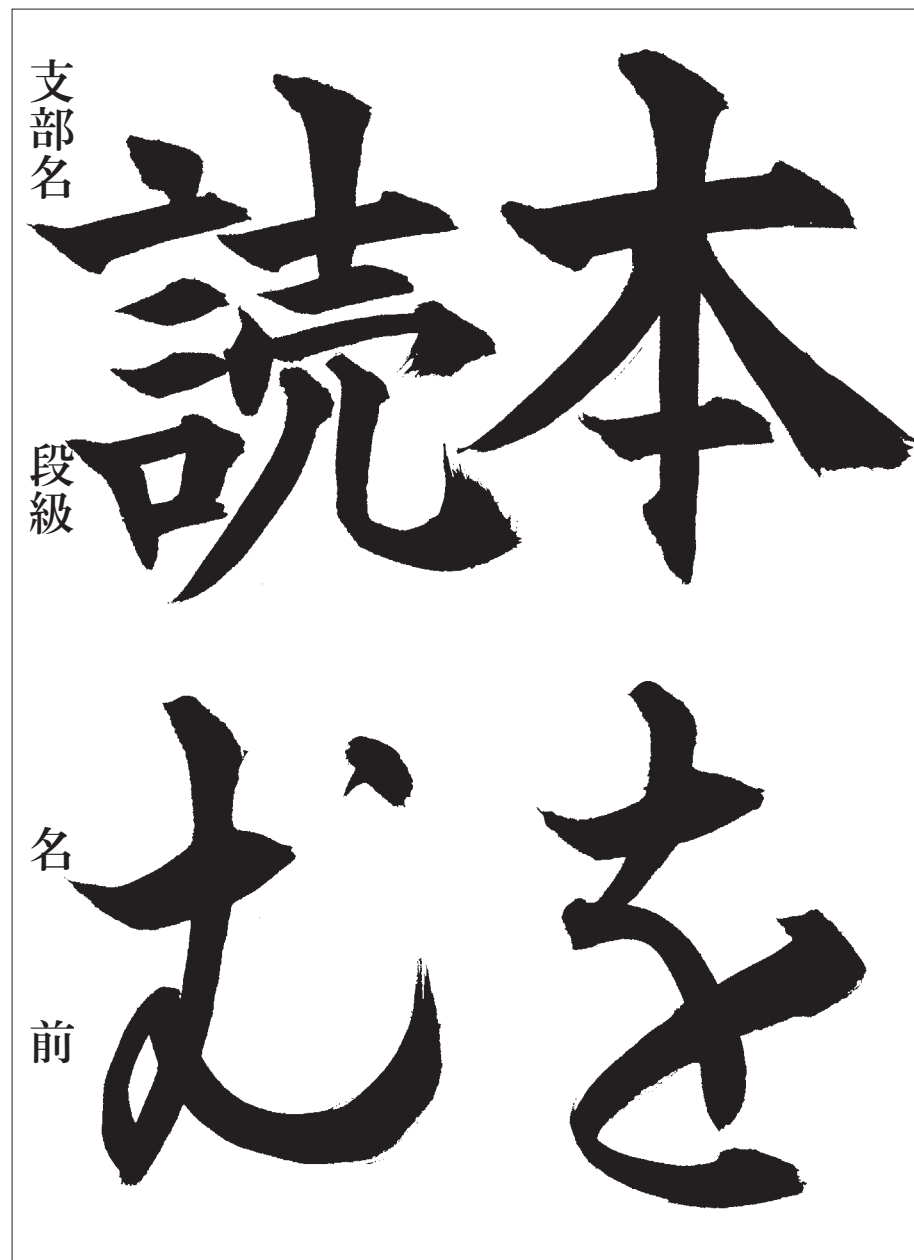
(11月10日締切)

小4用



朝平霞山先生

小5用



朝平霞山先生

(11月10日締切)

小2用

支
部
名

段
級

名
前

主
幹
菅
野
翠
濤

小3用

支
部
名

段
級

名
前

主
幹
菅
野
翠
濤

(11月10日締切)

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

はな

中 3

国際的な視野を持つ人
間に成長してほしい。

中 2

昨夜の強風もおさまり
今朝は青空になった。

中 1

読書、スポーツ、芸術
食欲の秋でもある。

中1～中3

青柳江雲先生

(11月10日締切)

小1・幼年

は ゆ
い う
に や
に け
ひ ら
ろ が
が っ
る。 い
っ

小1～小3

小 2

が 青
か 空
が には
が や っ
い てる。 お
る。 日
さ
ま

齊 藤 翡 流 先生

小 3

い 夕
色 日
に を
そ あ
ま び
っ て
て っ 雲
る。 っ が
赤

小 4

秋 ふ
の く
色 風
が に
感 っ
じ さ
ら わ
れ や
る。 かな

小4～小6

小 5

数 秋
が に
多 入
く っ
な た
っ たら
て っ 雨
き の
た。 回

若 月 久美子 先生

小 6

を 秋
鳴 風
ら が
し っ
し て っ
て っ 今
い っ 年
ま っ も
す。 木
の 葉

(11月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

秋深し
山道歩く

主幹 菅野翠濤

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

草の中より
あらく吹く
今日の月

季語Ⅱ「けふの月」

はげしい風が野の草を吹き分け、あたりが暗くなると、その草の中から中秋の名月が上がってくる、の意。蕪村も感心した彼の代表作である。

(11月10日締切)